

# 令和元年 沖縄全戦没者追悼式

6月23日は「慰霊の日」です

県では、沖縄戦で犠牲となった戦没者の御霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する目的で、糸満市摩文仁の平和祈念公園において「令和元年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。

式典には、来賓の安倍内閣総理大臣、大島衆議院議長、伊達参議院議長及び県内外から遺族関係者など、約5,100人が参加しました。

式典では、追悼のことば、平和宣言、「平和の詩」の朗読や来賓のあいさつ等がありました。

## 来賓あいさつと追悼

また、追悼式典の来賓あいさつの中で、安倍首相は、「沖縄戦から74年。犠牲となった方々が送るはずであったそれぞれの思いを致し、こうした尊い犠牲の上に、今日、私たちが享受する平和と繁栄がある。そのことを改めて深く噛み締めながら、静かに頭を垂れたいと思います。」と述べられました。

た。大島衆議院議長及び伊達参議院議長も戦没者の追悼と平和に対する思いを述べられました。式典終了後は、一般焼香が行われ、参列者の方々は戦没者の御霊に手を合わせ、戦没者の追悼と恒久平和を祈念されました。



黙祷の様子

## 平和宣言と平和の詩

式典で玉城知事は、平和宣言において、「慰霊の日に当たり、国籍や人種の別なく、犠牲になられた全ての御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、全ての人の尊厳を守り誰一人取り残すことのない

多様性と寛容性にあふれる平和な社会を実現するため、全身全霊で取り組んでいく決意」を宣言しました。



山内玲奈さんによる平和の詩

糸満市立兼城小学校6年生の山内玲奈さんは「本当の幸せ」と題して、生まれ育った大地がかつて目の当たりにしたであろう悲惨な戦争に思いをめぐらし、

「命(いのち)は生きていくから笑い合える 生きていくから未来がある 令和時代 明日への希望を願う新しい時代が始まった この幸せをいつまでも

と、身近な幸せについて言葉を紡いだ詩を朗読しました。

## 慰霊の日の関連行事

追悼式典の当日は、沖縄県遺族連合会の主催により、第58回平和祈願慰霊大行進が行われ、悪天候の中、遺族関係者約650名が南部の激戦地を行進することで、戦争の悲惨さを改めて認識し、世界の恒久平和を祈願しました。

また、同連合会の宮城篤正会長は、式典における追悼のことばで、「私達は、今後二度と「戦没者遺族を出さない」という強い信念をもってこれからも活動を続けていきたい。」と述べられました。



平和祈願慰霊大行進

問い合わせ

保護・援護課

電話:098-866-2428

FAX:098-866-2758

熱中症はこえかけで防げる

こ こまめな水分補給 え 炎天下を避けよう か 風通しを良く け 健康管理!